



シエル開設・「わくわく」から「ソレイユ」へ名称変更 【特別支援事業】

＜特別支援 シエル開設＞

2025年4月、特別支援の新たな事業所として『多機能型 児童発達支援・放課後等デイサービスシエル』を開設いたしました。シエルとは、フランス語で「空」を意味します。「互いの多様性を認め合い、子どもたちの個性が輝く居場所でありたい」という願いが込められています。シエルでは楽しい遊びや運動を通して成功体験を積み重ね、自信を育むことを大切にしています。又感覚統合を促す運動プログラムも提供しており、子どもたちの自由な発想から生まれる遊びのアイデアを取り入れる



新たな事務所「シエル」が誕生しました

など「楽しそう！やってみたい！」という気持ちを大切にした支援を行っています。今後も、子どもたちが活動を楽しみに通い、保護者の皆さまに安心してご利用いただける事業所を目指して取り組んでまいります。

【児童発達支援管理責任者 本田紗織】

＜「ソレイユ」名称に込められた思い＞

特別支援事業では、子どもたち一人ひとりの個性＝光を、社会の中で最大限に輝かせることを目指しています。そこで『わくわく』から、『ステラ』『シエル』と同様に自然に関連した名称『ソレイユ』へと変更致しました。ソレイユとは「太陽」を意味し、「温かく居心地の良い場所」「明るく笑顔で過ごせる場所」「一人ひとりが太陽のように輝ける場所」という想いを込めています。

【特別支援事業管理者 山口あつ子】

2025年に区切りを迎える事業所など

- 【博愛社】 創立135周年
- 【小橋兄弟記念館】 竣工60周年
- 【はくあい介護サポートセンター】 開設25周年
- 【デイサービス生活屋(いきいきや)】 開設20周年
- 【児童発達サービスわくわく(現ソレイユ)】 開設10周年



支援センターの新しいポスター

今後もその思いと愛称を引継いでいきたいと思えます。
【三船麻美亜】

大阪市北部里親支援センターの紹介

【大阪市北部里親支援センター】

令和3年度から大阪市より委託を受けてスタートした「大阪市北部里親支援機関かなーちえ」は、令和7年度からは、第二種社会福祉事業として「大阪市北部里親支援センター」と名称を変えて業務を行います。

国は、保護者と暮らせない子どもたちに家庭養育を推進していますが、まだまだ里親は足りていません。市民の方に里親制度を知っていただき、まずは地元である淀川区、そして東淀川区、西淀川区の里親を増やし、里親子が住み良い地域を作っていきたいと思っています。

「かなーちえ」という愛称は、「さまざまな機関が知恵を合わせて子どもと里親の願いを叶えたい」という思いから付けられました。

四季折々

近所のスーパーで

2013年3月の地域小規模「くろみ」の開設から、博愛社の地域小規模グループの歴史が始まりました。開設から10年を超えると、こどもと職員の顔ぶれもすっかり変わり、新たな「家」へと変化を感じます。

ここ数年でこどもたちの年齢も高くなり、学校や子供会のクラブ活動で外に出ていくことも多くなりました。最近の物価高騰の影響で、食べ盛りのこどもたちの胃袋を満たすことに、職員は家計の懐具合の心配と節約の苦労が絶えません。つい先日、スーパーで幼稚園の年頃の男の子がおばあちゃんらしき女性に「お米まだ高いなあ」と話しかけるとところに出くわし、一緒に買い物をしていたこどもとクスッと笑ってしまいました。どこの家も同じ苦労と会話をしているのだなと感じました。数年後、一人暮らしをし始めたこどもと、家計のやりくりの会話をすることを、今から楽しみにしています。

背中に背負ったランドセルが大きく見えていたのも束の間、ランドセルから新しい制服へと着替え、この春も、こどもたちは新たな世界へ飛び出していきました。また1年、友達とたくさんの時間を過ごし「我が家」へ帰ってくる日々が始まります。



こどもの誕生日のお祝い

【地域小規模 副主任 中矢可奈子】



主教按手式を終えた
小林聡主教



ようこそ博愛社へ
新チャプレン
金山将司司祭



こひつじ乳児保育園
チャプレン
齊藤壹司祭

6年間、博愛社のチャプレンとして心を尽くしてくださった小林司祭さまが、大阪教区の主教に選ばれ就任されました。改めてお祝い申し上げます。特にこどもたちとた

くさん触れ合ってくださいました。これまでのお働きに感謝いたします。新しく博愛社のチャプレンとなってくださいる金山司祭さまは、実はまだ30代ながら大

阪教区での勤務歴は10年となるそうです。埼玉の生まれなので標準語で話されますが、穏やかな物腰が親しみやすさを感じさせます。趣味はバイクツーリングという意外な一面もお持ちです。これからどうぞよろしくお願いいたします。

【担当 野上千春】

博愛社を支えてくださる
新主教さまと司祭さま



小規模児童養護施設つむぎチャプレン
金頭竜司祭 (右から1番目)

博愛社 春の人事 (2025年4月1日)

◆新入社◆

[児童養護施設博愛社]

- 井谷 真夕、森本 好美、佐藤亜耶花、谷川 風花、堀江 愛海 (以上保育士)
- 樋口 渚、金光 一也、村上 翔哉、古川 美穂 (以上児童指導員)

[児童養護施設博愛社いずみ]

- 竹田 命嵯、藤田 好里 (以上保育士)

[こひつじ乳児保育園]

- 上田ひとみ (栄養士)

[博愛社こども園]

- 安田 花愛 (保育教諭)

[児童放課後等デイサービス ソレイユ]

- 中谷 文昭 (児童発達支援管理責任者)

[児童発達支援・放課後等デイサービス シエル]

- 本田 紗織 (児童発達支援管理責任者)
- 藤本 雅美 (保育士)

[児童発達支援 ステラ]

- 大谷 正子 (児童発達支援管理責任者)

[博愛の園]

- 溝口 悠夏 (ケアワーカー)

[サテライト特養 清心館]

- 石原 夏葵 (ケアワーカー)

いつも博愛社を、お祈りとご寄付でお支え下さる皆様、本当にありがとうございます。2024年度（2024年4月～2025年3月）に、皆さまから博愛社へお寄せいただきました、寄付金について感謝のご報告をさせていただきます。

寄付金の総額は、2,192万2,000円でした。内訳は一般寄付85万円、後援会232万円、各施設指定寄付1,875万円です。

24年度は、「それぞれの課題と夢を共有しよう」を年間テーマとして歩みました。大きく分けて4つの部門として歩む博愛社の新しいロゴも作成しました。

幸いにして24年度には、「児童養護事業」、「高齢事業」、「幼児教育・保育事業」、「特別支援事業」ともに、日常活動・将来のための活動を順調に進めることができました。感謝をもってご報告申し上げます。

博愛社各部門では、新しい活動が継続しており、24年度はその基礎固めの年でありました。

児童部門を二組織体制「博愛社本體」と「博愛社いずみ」として歩み始めて2年が経ちました。こどもたちも彼らを支える職員も、小さな家庭的な単位で生活することが普通のことになってまいりました。小さな単位での家庭的養護には、それなりの困難もございりますが、職員達は良さが見られております。職員達はこどもたちと共に生きる困難に向きあう努力とそれにも増しての喜びをもって生活してくれております。

また、新しい地域小規模児童養護施設（仮称なつめ）の建設に向けても、順調な歩みを進めております。

高齢部門では、ようやく新型コロナ対策の体制から解放されました。1024年度は、止むを得ない事情から4月より行いましたが、無事再開することができました。入所しておられる高齢の皆様は、新生活のため一層努力しているところです。

教育保育部門は、「博愛社こども園」「こひつじ乳児保育園」共に堅実に活動を続けています。

同時に、淀川区における幼児教育保育の増大する需要にお答えするため、地域支援企業「ダイヘン様」のご支援のもと、新保育園「博愛社クローバー保育園」開設に

感謝のご報告

2024年度分

博愛社の「隣人愛」という理念を守った歩みに対して、これからもご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。皆様方と共に平和な世界を目指して歩めることを、心から感謝いたしております。

なお、寄付金、寄贈品、後援会費をいただきました方々への感謝の思いを込めて、お名前を次のページ以降に掲載させていただきます。さまざまなご厚意や愛情としてご支援をお示しくださった皆様、心からの感謝をお捧げいたします。

- 社会福祉法人 博愛社
- 理事長 畑野研太郎
 - 副会長 佐野 雅章
 - 会長 豊川 信三
 - 事務局長 和多田 祐
 - 博愛社 後援会

「特別支援部門」も、児童発達支援事業「ステラ」の順調な活動により、ステラを卒業して放課後等デイサービス「わくわく」(25年度よりは新名称「ソレイユ」)に進むことを希望することも増加して全員のご希望にそえなくなったため、博愛社敷地外(隣接地)に新たな場所を確保し、第二の放課後等デイサービス「シエル」を24年度中に立ち上げ、25年度より活動を開始しております。

博愛社の活動は、4部門とは申せ、細かく数えれば現在23の事業が活動しています。各部門がそれぞれ与えられた働きを行っており、それぞれの部門がそれぞれの困難に、(それは困難を抱える方々に寄り添う困難といえるでしょう)向き合いながら、こどもから高齢の方々までの生活を少しでも幸せなものとするように前を向いて進んでまいりました。これらの小さな歩みの積み重ねのおかげで、2024年度の博愛社は、下記の決算報告書のとおり、各施設、法人本部とも健全に運営されましたことを、感謝をもって報告させていただきます。ありがとうございます。

博愛社を、お祈りとご寄付でお支え下さる皆様、本当にありがとうございます。2024年度（2024年4月～2025年3月）に、皆さまから博愛社へお寄せいただきました、寄付金について感謝のご報告をさせていただきます。

寄付金の総額は、2,192万2,000円でした。内訳は一般寄付85万円、後援会232万円、各施設指定寄付1,875万円です。

24年度は、「それぞれの課題と夢を共有しよう」を年間テーマとして歩みました。大きく分けて4つの部門として歩む博愛社の新しいロゴも作成しました。

幸いにして24年度には、「児童養護事業」、「高齢事業」、「幼児教育・保育事業」、「特別支援事業」ともに、日常活動・将来のための活動を順調に進めることができました。感謝をもってご報告申し上げます。

博愛社各部門では、新しい活動が継続しており、24年度はその基礎固めの年でありました。

児童部門を二組織体制「博愛社本體」と「博愛社いずみ」として歩み始めて2年が経ちました。こどもたちも彼らを支える職員も、小さな家庭的な単位で生活することが普通のことになってまいりました。小さな単位での家庭的養護には、それなりの困難もございりますが、職員達は良さが見られております。職員達はこどもたちと共に生きる困難に向きあう努力とそれにも増しての喜びをもって生活してくれております。

また、新しい地域小規模児童養護施設（仮称なつめ）の建設に向けても、順調な歩みを進めております。

高齢部門では、ようやく新型コロナ対策の体制から解放されました。1024年度は、止むを得ない事情から4月より行いましたが、無事再開することができました。入所しておられる高齢の皆様は、新生活のため一層努力しているところです。

教育保育部門は、「博愛社こども園」「こひつじ乳児保育園」共に堅実に活動を続けています。

同時に、淀川区における幼児教育保育の増大する需要にお答えするため、地域支援企業「ダイヘン様」のご支援のもと、新保育園「博愛社クローバー保育園」開設に

社会福祉法人 博愛社 2024年度（令和6年度）決算報告書

(単位千円)

1. 資金収支計算書

科目	予算	決算	差異
①事業活動収入	2,091,040	2,251,183	-160,143
②事業活動支出	2,001,980	1,975,354	26,626
A. 事業活動収支差額	89,060	275,829	-186,769
③施設整備等収入		517	-517
④施設整備等支出	129,610	127,800	1,810
B. 施設整備収支差額	-129,610	-127,283	-2,327
⑤その他活動収入	181,760	212,759	-30,999
⑥その他活動支出	190,760	393,259	-202,499
C. その他活動収支差額	-9,000	-180,500	171,500
D. 当期資金収支差額	-49,550	-31,954	-17,596
E. 当期末支払資金残高	535,523	553,119	-17,596

※寄付金収入 21,921

2. 事業活動収支計算書

科目	当年度	前年度	増減
①サービス活動収益	2,218,885	2,052,599	166,286
②サービス活動費用	2,133,168	1,970,047	163,121
③サービス活動外収益	32,298	29,279	3,019
④サービス活動外費用	18,183	17,928	255
A. 経常増減差額	99,832	93,903	5,929
⑤特別収益	243,032	164,634	78,398
⑥特別費用	176,393	164,271	12,122
B. 特別増減差額	66,639	363	66,276
C. 法人税・事業税等	453	423	30
D. 当期活動増減差額	166,018	93,843	72,175
E. 次期繰越活動増減差額	1,357,449	1,361,431	-3,982

※国庫補助取崩額 46,581 減価償却額 134,907

3. 貸借対照表

借方				貸方			
科目	当期末	前期末	増減	科目	当期末	前期末	増減
①流動資産	658,149	794,915	-136,766	④流動負債	191,871	286,415	-94,544
②基本財産	2,666,508	2,732,962	-66,454	⑤固定負債	374,465	377,453	-2,988
③その他固定資産	1,425,053	1,199,412	225,641	⑥基本金等	2,825,925	2,701,990	123,935
				⑦次期繰越収支差額	1,357,449	1,361,431	-3,982
A. 資産合計	4,749,710	4,727,289	22,421	B. 負債・純資産合計	4,749,710	4,727,289	22,421

※国庫補助金積立残高 1,178,666 積立金額 955,500

ご芳名

社会福祉法人博愛社への寄付および
物品寄贈者 2024年度分(敬称略)

【寄付金】

愛輝幼稚園、青山孝子、若屋聖マルコ教会、(株)anagion浜辺竜也、荒瀬八良、アリシアスパノン、(同) あんずシユワワ宇田玲佳、石井英隆、伊藤範子、井上涼、井上薫、岩根千明、上田亮介、宇野喜句子、梅原純三、浦谷美智子、大兼真也、大阪北ライオンズクラブ、大阪キリスト教短期大学、大阪教区婦人会、大阪教区連合男子会、大阪聖愛教会、大阪聖アンデレ教会、大阪聖パウロ教会パウロ会、大阪淀川ロータリークラブ会長長松井義明、大寫信太郎、大橋哲子、岡田真実、小椋圭一郎、尾崎順子、小野真友美、梶川靖夫、梶田一聖、金宮龍也、川田誠、川村輝夫、川村昌子、(学)関西学院宗教センター、北山圭介、吉川寛美、岐郵章子、(公財)クジラ育英会、工藤麻衣、鈿崎克己、

河野光裕、神戸昇天教会、小林凌子、佐野節子、篠塚茂子、聖贖主教会婦人会、聖バルナバ病院サマリア会、聖ミカエル幼稚園、瀬川優子、大韓聖公会ソウル教区、ダイナミックオーナーズ会、(株)ダイヘン代表取締役社長長義毛正一郎、(株)大丸松坂屋百貨店、高瀬英治、高橋英子、武井保、竹下實則、田中廉、ダブルツリー・d・ヒルトン大阪城、デイサービス生活屋家族会、豊川雅章、豊田医院豊田絃生、中村茂高、西岡浩二、西宮聖ペテロ教会、西本行伸、24時間テレビチャリティー委員会、日本システム技術(株)有志一同、野上千春、野田遥佳、野知卓司、博愛社児童を応援する会、博愛の園・清心館家族会、橋本美和、畑野研太郎、初雁幼稚園、花村慶子、濱田智子、早川育子、早川俊、早川文子、林香代子、林光行、原田安博、樋口敏雄、PURE・DREAM(株)PUREJ女子プロレ

【寄贈】

ス代表取締役コマンドポリシイ、ヒルトン大阪、プール学院中学校高等学校、(株)藤井建材平沢光弘、増田芳恭、松井聡、松尾由希子、松岡慶一、松岡翠、松原泉子、松原葉子、松山陽、(株)万代、三浦研、三島キヨコ、宮嶋公恵、(株)ミヤワキ代表取締役社長長宮脇健輔、村館忍、守口聖オーガスティン教会、山口あつ子、山下敏幸、良善幼稚園理事長杉野達也、ロックペイント(株)、(株)ワールドマーケット代表取締役荒木剛、若山昭人、和多田祐、渡邊英治、匿名

アトムカード委員会、(株)アップハウジング小川泰毅、イケアジャパン(株)IKEE鶴浜、IKEEA鶴浜ローカルマーケットイン、泉佐野市成長戦略室おもてなし課、ヴィヴェンシアクリニック院長野町健、宇田玲佳、(二財)H2Oサンタ、NNTTファイナンス(株)関西総合料金センター、(株)MGC代表取締役松田清治、(株)大岡産業代表取締役社長岡田達也、大阪菓業青年クラブ理事長細川優子、大阪ガス(株)地域共創部門武田さえみ、大阪そねざきロータリークラブ会長米倉正裕、大阪堂島ロータリークラブ会長笹田淳、大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会

理事長熊本和浩、大阪府福祉子ども家庭局子育て支援課事業推進グループ、Osaka Book One Project、(一社)大阪府薬剤師会会長乾英夫、大阪本場青果卸売協同組合理事長牛山隆之、岡本(株)代表取締役会長岡本哲治、奥本彰、奥本喜久子、小沼智克、オリムピア製菓(株)、ガイア東三国店、花王(株)、川口基督教会婦人会、木内弘子、キコーナ十三店、北山圭介、協同食品(株)、近畿アイスクリーム協会理事長二澤崇人、NPO法人グッドライフ村田幸平、熊本県経済農業協同組合連合会、倉敷紡績(株)、グランドサロン十三、グリコマニユファクチャリングジャパン(株)大阪工場、(株)GREEN代表取締役山島敬右、コストコホールセールジャパン(株)尼崎倉庫店、小鯛竜也、コネクシオ(株)伊藤恵美、佐伯直輝、坂口晴香、佐藤稔也、(公財)自動車リサイクル促進センター、十三奴寿し南口宣弘、(株)しょうわ、伸栄商事(株)、杉井和子、(一社)生命保険協会大阪府協会、全国シヤンメリー協同組合、全国農業協同組合連合会愛媛県本部県本部長関岡光昭、雑巾を縫う会、大韓聖公会ソウル教区、(株)ダイヘン、武部扶美、田中敬子、(株)タモツコーポレーション、(株)タンバヤ、チャッカリー平澤まこ、(株)チュチュアンナー%ク

ラブ、堂島アバンザ管理(株)、ドミノ・ピザ・ジャパン代表取締役ジョシユアキリムニック、中嶋公三子、中谷美砂子、中村屋紙工(株)代表取締役社長三村健史、(公財)那須記念財団代表理事那須雄治、24時間テレビチャリティー委員会、日本鏡餅組合理事長樋口元剛、(公財)日本漢字能力検定協会普及企画部普及促進課、日本システム技術(株)、博愛社こども園保護者会、博愛社児童を応援する会代表(株)ピイティエス米盛彰、浜田典子、原拓海、ヒューマンプラン(株)、(株)ビルドミクス代表取締役廣重薫、ヒルトン大阪、(株)ファミリーマート新大阪営業所、フィットネスクラブカブス高槻西冠店、藤田恵里子、(有)フリーマーケット123、(株)フレール館代表取締役社長吉川隆樹、プロシオンの会、(株)マーキュリー、前澤雅紀、松野勝枝、(株)万代、峯松伸、峯松圭子、(一財)みらいこども財団、(株)MakeFoodTech田端一雅、モスバーガー十三店、山口文子、山口育美、山口陸、山本恵一、(有)USJ、(株)ユニクロ、吉野彰祐、(有)ライフカンパニー、(株)ラミーコーポレーション、わーくはびねす農園、ワールド

博愛社後援会「芳名」敬称略

(2024年4月～2025年3月)

- 【宮城県】 足利静恵、元村妙子、元村智明
- 【茨城県】 垣内利仁、木川田雁子
- 【埼玉県】 松山聖ルカ幼稚園
- 【石川県】 側垣二也
- 【千葉県】 橋本安富
- 【東京都】 淡路有希子、武田邦隆、田坂知加子、土肥努、馬場千代子
- 【神奈川県】 伊藤英子、古谷美子、竹中眞美子
- 【静岡県】 鶴田直宏
- 【長野県】 聖十字幼稚園
- 【滋賀県】 遠藤小百合、武田浩也、村岡俊太郎
- 【京都府】 浦地恭子、竹林徑一、竹林敏子、辻元太、長谷川勝彦、藤倉寿美子
- 【大阪府】 (株)アエル、青木和美、青木沙矢、青柳梓、赤松佳香、浅井靖久、浅田香里、朝日麻衣、あすなろの家、安宅貴世子、姉崎隆、油谷咲杏、阿部静子、天野徹、有澤正行、有本陽子、井内益美、池本信昭、いざなみ監査法人、石川結菜、石崎大輝、石崎未羅、石田美郎、石伏保子、石本栄博、石本加代子、伊勢田健、磯悦子、磯晴久、市原健藏、市原俊雄、伊藤範子、稲中千枝子、井ノ本牧子、今井佐紀、今井利子、今鷹美由紀、今中愛子、入谷万里、岩垣風音、岩崎優、上埜里美、植畑恵子、上村サト子、内海由利子、宇野豊、浦田瑠偉、江里口立子、
- 圓満涼輔、大木勇哉、大阪北
部ヤクルト販売(株)、大城ちづ
る、太田久美子、大東理絵、
大坪桃菜、大西良和、大西由
香里、大野高史、大野寿美、
大橋梨穂、大橋祐紀、大本千
尋、大森奈保子、大屋奈津希、
大矢めぐみ、岡亜優美、岡田
茉奈、尾方由美、岡部始子、
岡村圭奈、岡本光璃、岡山保
美、小川紗嬋、奥田夏子、奥
野敏子、奥山美江子、尾崎秀
行、織田一容、織田恵子、落
美穂、小野真友美、影山阿斗、
梶川靖夫、梶原忍、総谷千尋、
勝原沙奈美、勝原駿、門脇健
二、金城泰二、上岡良行、川
口梨菜、河崎沢、川田誠、河
原美智子、河村卓哲、河村秩
恵子、神崎美咲、北原幸子、
北林三奈、北村優佳、北村莉
穂、喜屋武真衣、吉川美恵子、
金瑛美、岐邨章子、木本敦子、
木本有紀子、キンキ寝具(株)、
工藤孝志、久保恵子、栗飯原
真紀、黒川いつき、黒田茉優、
桑田幸奈、小出裕司、河野光
裕、小亀綾香、小沼あずさ、
- 小林一子、小林真紀子、小原
大輔、昆りんな、近藤さくら、
近藤理香、近藤大斗、近藤良
樹、斎藤泰乃、斎藤純加、齋
藤裕、齊藤勇人、境光子、坂
本あかね、坂本康一朗、崎田
美穂、佐治真由子、佐田茂、
佐藤真愛、佐野節子、佐原未
佳、澤田明日香、澤田千夏、
志野珠紀、柴田真央、下垣桂
二、新北野中学校、末永早紀、
杉谷恵、杉本武、鈴木久美子、
鈴木貞子、鈴木鈴枝、鈴木礼
子、鈴木由希子、鈴木洋祐、
駿河豊、千田拡二、大門美貴
子、高島ますみ、高橋明子、
高三真維、高谷鮎美、竹内絢
子、武田悠、武富さくら、竹
林松美、竹林由香里、竹原し
ずく、田島莊士、多島洋介、
田代清風、橘尚子、巽悠里、
立川武生、谷口瑛彼、谷本潔
俊、谷本奈緒美、田林敬子、
田村隆一郎、田村優江、千田
明穂、槻本邦夫、佃可南子、
辻あおい、辻哲平、辻野由美、
津野紀代志、税理士法人津野・
倉本会計事務所、坪田雪絵、
- 出上俊一、鉄谷淳二、土居鮎
子、利川美香、富川秀真、豊
田医院豊田紘生、鳥山久美子、
中井菜摘、長井英昭、中川忠、
中芝正美、中嶋朋美、中島実
沙、永田可菜、中谷仁美、中
辻亜紀、中辻菓子店、中西由
香里、中野香津子、中野泰三、
中峯桃子、中村敦也、仲村樹
馬、中村と志、中村忠雄、中
村昭代、中村未来、中矢可奈
子、流妃央、鍋谷真澄、二川
幸子、西川篤志、西川香奈、
西川博子、西川眞砂子、西川
優里、西田はな、西村絵琉奈、
西本行伸、仁田忍、沼田直美、
野上千春、野田遥佳、野知卓
司、橋本明子、萩原昭子、秦
香、畑寿一郎、花田征美、花
原飛鳥、羽田涼子、馬場勝久、
濱田一輝、早川育子、早川俊
早川文字、早瀬佳美、原綾花、
原寛、原田あかね、(株)ピコ・
エイダ代表取締役堀武、姫井
昭男、平井義則、平岩倫子、
平川寿代、平田温子、廣實佐
知子、福井優記、福田航平、
畚野さくら、藤瀬愛、藤野寛

暁、藤村真美華、藤本静香、川遊技業組合山本一博、若村藤本雅美、文野陽子、古川達也、北摂環境サービズ(株)、細見実樹、堀内信男、堀江亮太、前杉康子、前田孝一、前田禎之、榎野明美、増井理恵、増田愛子、松岡虔一、松岡翠、松川恭子、松川小夜子、松川萌々花、松永英子、松野晋也、松場翔、松村唯、松山陽、真鍋開人、三浦貴志子、三木康資、三橋祈織、南和代、三船麻美亜、宮崎菜々加、宮原鈴佳、向濱知里、村上定子、村木和花、村田良子、村松なつき、(株)メリコ、元持千穂、森ちか、森田いづみ、森邊藤子、森本晴夫、八木紗恵子、保倉寿子、安田郁代、安田唯、柳川小々桜、柳橋吉浩、矢野沙緒里、山口あつ子、山五(株)、山下君子、山下真子、山田陸子、山村彩夏、山本和人、山本妙子、山本久江、山本浩子、結城舞優、湯原孝子、吉井まどか、芳岡節子、吉岡柚葉、吉澤知子、吉田圭子、吉田史子、吉松政子、吉本教郎、淀川遊技業組合山本一博、若村正博、和田聡美、和多田友子、和多田祐、渡部千夏、匿名【兵庫県】赤山英雄、東敏勝、イースター式典社、泉迪子、伊藤良三、伊藤陽子、井上涼、井上初音、今西時子、今西信之、上原美咲、大谷未来、大西博孝、大野定利、大野和哥子、岡部菜穂、奥谷幸子、加賀亮、金森雪絵、北村寿章、木村友哉、楠部欣哉、坂井向日葵、桜井揚子、佐藤正子、佐野信三、佐野弘子、四方裕子、清水千鶴代、東海林恭子、杉山克枝、角谷布美子、鷹見作平、棚橋次美、谷政敏、次田路代、辻毅一郎、中野優、長野加代子、長野泰信、中原マサ子、中村大蔵、成田弘子、成田吉哉、西垣晃一、錦織久西台宏、丹羽昇子、野瀬一吉、萩山理恵、畑野研太郎、花倉弘美、樋口敏雄、平山綾子、福田順子、プラス薬局、前田弘子、松岡敏子、水口正樹、三好彩理佳、森秀哉、八尾めぐみ、安田純子、柳谷拓哉、柳谷利起、柳谷奈緒、柳谷英雄、柳谷舟子、柳谷良洋、山口巧、山崎弘子、山野上素充、山本常雄、山本雅哉、吉田恵、余田愛子、若山陽子、渡邊英治

【奈良県】 磯林豊樹、大阪タングクラブ、小野耕作、小牟田光子、柿木章、阪峯登、笹川忠士、中島巖、ニシキ醤油(株)、増森規子、吉田啓子、吉野真奈

【和歌山県】 岩本真治

【愛媛県】 渡邊研太郎

【岡山県】 青木実
 タテベシゲル

博愛社後援会会費

- ▽個人 1口 3千円
- ▽法人 1口 1万円

いづれも年会費で、期間は4月〜翌年3月

▽郵便振替口座番号 00920074676

▽口座名義 社会福祉法人 博愛社

博愛社子ども園 開園5th イベント
Green marché
 【博愛社子ども園】



キッチンカー大行列 !!

「マルシェの開催はどうでしょう！」園長からの提案で、開園5thイベント運営チームが結成されました。初の試みにわからないことだらけでしたがプロの運営者にレクチャーを受け、保健所を訪ね、マルシェ見学など手探りで少しずつ動き出しました。当日朝方に暴風雨となり心配しましたが昼前から回復し、キッチンカーやプロの出店者により大変華やきが見られ、ほか各教会や地元十三商店街、近隣施設、保護者、教職員、法人内の他事業部など総勢30店舗に、来場者推定700人を超える大盛況の一日となりました。足元の悪い中、多くの方に足を運んでいただき職員一同大変感謝しております。

【幼児主任 松野晋也】



先生楽団は満員御礼♪



各ブースも大盛況



こひつじの2歳児さんは、地域交流の環境で近くのこども園、保育園で遊ばせてもらう体験をしています。広い園庭や見たこともない遊具に目を輝かせて遊んだり、年長のお兄さんお姉さんに話かけられちよっぴり恥ずかしかったり。いつもとはまた違うこどもたちの姿がありました。

このような体験もあつてか、

【1歳児担任 和田聡美】

卒園前新しい園に行くことをとても心待ちにしているこどもたちの様子がうかがえます。またある保護者の方も「今年のパンダ組さん（2歳児）は新しい園に行くことに前向きです」とおっしゃっていました。

3歳という年齢で卒園そして入園という大きな節目を迎えるこひつじのこどもたち。これから出会う様々な出来事に『ワクワクするね』『楽しみだね！』そんな前向きな気持ちで向かっていくことができるような心を育む保育をしていきたいと改めて感じています。



2月末の週末、振袖プロジェクトとして博愛社を退所し二十歳を迎えた2名に対し、着付け作法学院礼装庵晴れ着プロジェクト部の皆様がボランティアにお越しくださいました。複数ご用意していただ

いた振袖より2人の趣にぴったりのものを選び、着付け、ヘアセット、メイクが完

成すると、お披露目に集まったこども達からも「きれい！」「私も着たい」と感嘆の声があがり、ひと足早い春を迎える華やいだ雰囲気に含まれました。

【主任 高橋明子】



おねえちゃんきれい。私も着たいな～

博愛社クローバー保育園

「博愛社クローバー保育園」は、2026年4月に開園いたします。緑に囲まれた環境の中で、コンパクトながらも温かみのある保育園づくりを目指します。地域の皆さまの子育ての一助となれたら嬉しいです。

クローバー保育園 (イメージ図)

NHK 歳末たすけあい義援金に感謝

【児童養護 博愛社】

今年も社会福祉法人大阪府共同募金会を通じてNHK歳末たすけあい義援金をいただきました。それぞれ小・中・高校へ入学した19名のこどもたちの入学お祝い金として、文具や生活用品、自転車を購入いたしました。博愛社では家庭的な暮らしを大切にこどもたちの支援を行っている中で、入学金、喜び、マイ自転車、

マイ文具が揃えられる当たり前にあらためて感謝しなければなりません。ご支援いただいた皆さまのお気持ちが届き、感謝の気持ちと物を大切にすることを大人となるように支え、見守っていきたく思います。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

【主任 勝原 駿】

昨年の「24時間テレビ」で、少女時代にお世話になった児童養護施設への恩返しのためチャリティーマラソンを完了したお笑い芸人「やす子さん」より、集まった募金を全国の児童養護施設のこどもたちのために使ってほしいと、自転車、ジェフグルメカードをご寄贈いただきました。テレビに映るやす子さんを見つけると「ありがとう！」とテレビに声を掛けるこどもたちの姿もありました。



お兄ちゃんが引っ張ってくれど安心して練習できるよ♥

やす子さんからの寄贈

【児童養護】

本当にありがたいの気持ちです。大切に使用させていただきます。

【主任 西川眞砂子】

家族と一緒に最後の外出

【博愛の園】



久しぶりに帰宅した山本さん

博愛の園に入居の山本智恵子さん。今年に入ってから体調を崩され入院されました。100歳の智恵子さんには治療は難しく、最後は博愛の園で看取って欲しいというご家族の意向で退院されました。かねてからお孫さんより「いつかおばあちゃんと一緒に阪神百貨店に行きたい。小さい頃の思い出をよく連れて行ってもらいたいの。今度は私が思い出た場所に連れて行ってあげたい」という願いを聞いていた私は、この願いを行動に移すのは今しか無いと思

い、外出の計画を立てました。

当日、親戚の方たちも一緒に阪神百貨店へ行き、その足で住み慣れた自宅に帰り仏壇に手を合わせられました。久しぶりの家族との団らん、それを聞いたご近所の方も来られ徐々に再会できました。その1週間後、ご家族に見守られながら息を引き取られました。現在は当時の阪神百貨店から街並みも様変わりしていましたが「沙良(孫の名前)とよく来たな」と懐かしんでいるようでした。入居者の「今」は来年必ず来るかどうか分かりません。後悔ない介護をしていきたくと思う今日この頃です。

【主任 坂本康一朗】



思い出の阪神百貨店前での家族写真

博愛社フェスティバル開催のご案内

【児童養護施設】

今年度の博愛社フェスティバルは10月19日(日)10時~14時に開催が決定しました。

今年のテーマは「笑顔満祭~命かがやく博愛社万博~」となりました。

昨年度が盛況に終わり、今年度も盛り上げるべく法人全体で4月より準備をしています。今年度もバザー用品を募集しています。食品と電化製品は除き、新品の物に限ります。ご協力頂けたら幸いです。

今年度も皆さんで思い出に残るフェスティバルにしていきたいと思います。

【フェスティバル委員会 藤村真美華】

博愛社の百年史には、明治学院で牧師の資格をとり満洲や日本で伝道し、後に明治学院の教授となり、ダンテの神曲の翻訳等で有名となった中山昌樹が博愛社の出身であることが記されている(二一〇頁)。実は以前に彼の『ミルトン失楽園物語』を読んだことがあり、私にとつて偶然な出会いでもあった。さしあたり彼の幼少年時代につき北陸学院や明治学院大学等の年史、中山についての著、加えて博愛社の資料等を参考に、如何なる経緯の下で博愛社と接点を持つに至ったかをみていこう。

中山昌樹(一八八六一一九四四)は金沢で育った。英和幼稚園に通い、その後英和学校(小学校)に進む。因みに彼は一九〇二年五月の博愛社機関誌『博愛月報』に「金澤出張」と小橋実之助の「金澤紀行」という文で窺える。それは長老派の宣教師ウイン(T.C. Winn)と実之助との約束でもあり、彼が金沢まで児童

をを迎えにいく様子が記されてある。こうして一応、博愛社に落ち着いた中山は当初、桃山中学に入学するが、英語習得のために泰西学館で学ぶ。機関誌を紐解くと幾度か中山が登場する。例えば一九〇二年

八月、「演説会」が催され、中山は「近松行重の母」という題で演説する。〇五年四月三日には芳交会親睦会が開催され、会員の中山が大阪の泰西学館を無事卒業し、その夜、明治学院入学のため東上したことが報じら

れている。そして七月の月報には明治学院学徒となった中山が休暇の為に帰社したことが報じられる。ともあれ彼は明治学院で学び、賀川豊彦、村田四郎らと親交を結ぶ。かくて一九一〇年、牧師資格を取得し卒業する。同年六月には中山の卒業の感謝会が博愛社で催され、実之助や友人の祝辞、彼の答辞等があり有益な会であったと記されている。この時期、中山は博愛社でも説教し、七月の機関誌に「児童救済と信念」という論文を執筆する。卒業後、彼は暫く満洲奉天日本基督教会の牧師職に就く。帰国後、東京の教会や京都の吉田教会等で伝道に携わった。翌年秋には、大阪北教会で結婚式を挙げる。明治学院での彼の動静は、学院の年史を紐解くことによりかなり理解できる。

中山昌樹(芳交会員)という人物

博愛社の歴史探検 [45]

(関西学院大学名誉教授 室田保夫)